９月区代表・交流会まとめ

テーマ＝コロナ禍。
保護者同士はどうやって交流していますか？

・キャンプなどは定番。

【保護者会】〇リアルとオンラインの併用。〇父母会後に周辺の草刈り。〇保護者会時の座る場所をスポーツ班、キャンプ班など分けてコミュニケーション。〇草むしり。〇ブレイクアウトルームを活用し、おもしろいテーマ、例えば「学童保育を漢字一文字で表現すると？」などで交流。〇Zoom 活用　ブレイクアウトルームで顔合わせ。〇３年間父母会がない学童保育所もある。最近、オンラインで父母会をやる動き。〇Zoom で各自カメラをオンにし顔を見せる。〇Zoom で各自カメラをオンにし顔を見せる。こどもの顔も掲示。〇Zoom メーンで保護者同士の交流は特になし。〇オンラインで開催ができず対面で。〇交流の場は父母会や役員会に限られる。〇Zoom での定例会のあと有志が残り質疑応答。ブレイクアウトルームなどで引き継ぎ。〇キリスト教会の一室を借りており、父母会も対面で。

【交流の工夫】〇リモートで。写真を UP。〇現地と Zoom 併用。〇交流はあまりできていない。集まるときは学校別、学年別、少人数で。〇親同士でボードゲーム。〇キャンプなど中止で保護者の交流が難しい。〇区連協会議に父母会長を誘い交流会を開いた。〇子どもの様子を指導員が画像でまとめて見せてくれる。〇お母さんの懇談会。

【催し】〇体育館を借りてクイズ大会や交流会〇餅つきやキャンプを予定。〇新入生歓迎でバーベキュー。屋外企画で、ミカン狩り、スキーｍ、餅つきなど。キャンプ実施、デイキャンプ、祭り、バザーなどで交流。歓迎会として保護者が外でドッチボール。〇親の数を減らしてデイキャンプ、夏休みにイベント。〇歓迎会、祭りなどで仲良くなる。〇大きめの公園に集まり交流会。オリエンテーリングなど。〇ミニスポ、ドッチボール大会に大人も参加。〇歓送迎会は子ども１人に親１人に制限。キャンプは中止になったが踊りのお披露目を武道館で。〇キャンプは日帰りと宿泊の選択制。夏祭りはブースを減らした。〇キャンプを延期。他者が使わないキャンプ場を利用。デイキャンプ。〇親子交流のためボーリング、ドッチボール、ソフトボール練習、花火。〇キャンプで自己紹介ボードを掲示。〇昨年 12 月はクリスマス会。〇新入生歓迎会。新入生はリアル、あとはZoom。

【区連協行事】〇飯田市でのリンゴ狩りを昨年再開。有志・家族単位で。「参加しやすかった」との声。

【その他】〇お迎え時に声を掛け合う。〇LINE など活用。〇お迎え時で交流。

【意見】〇父母の交流はどこも課題。

Ｑ：行事中止の判断基準があれば教えてください。

Ａ：行事開催の是非の基準はわからないが指導員が判断？

Ａ：行事中止判断は役員会。恒例の 10 月の秋祭りを今年度は中止。区内の他の学童保育所では気にせずキャンプを２泊３日で行ったところも。

Ａ：コロナ感染者が出たのでその後の行事を全て中止にした。「陽性者がいなければ実施」との判断。

Ａ：明確な基準はないが、役員で LINE に似たツールで多数決。

Ａ：所属の学童保育所では、緊急事態宣言や蔓延防止措置などで基準を決めている。飲み会やキャンプは公的な要請に従う。

Ａ：区内で学童保育所によって対応が違う。キャンプは２泊３日のところもある。学区や学校の状況・行事の開催状況も参考にする。

Ａ：役員会で無記名で多数決。先日は５対５で会長決済。

Ｑ：参考になった。